

## 「卒園生集まりの会」も8月11日(金)に開催致しました。

「卒園生集まりの会」を8月11日(金)に開催致しました。本来毎年8月の山の日に開催をしようと、決めているイベントでありながら、コロナウィルスの影響で、3年越しとなってしまいました。嬉しいことに、当日は9名の卒園生がホームに来てくれました。正直、予定時間に間に合うかどうか心配していましたが、多少の遅れでスタートできました。久しぶり過ぎて、特に男の子たちは、職員や入所時に一緒だった児童と顔を合わせて、照れくさそうにしていました。児相同士では、当時小学生が中学生になっている児童は、人見知りしてしまう以外な一面もあり、様々でした。おもてなしとして、お菓

子、ジュースと、ホットプレートを会場に用意し、クレープ作って食べました。談笑をしながら、ホームで保管しているアルバムをみんなで見て、当手を振り返って盛り上がりました。

また、アルバムに加え、ムービーと、現在ホームにいない当時関わりのあった職員からのメッセージ動画集をつくり、卒園生に向けて、おかえりと応援メッセージを送りました。時間としては、2時間という限られた短い時間ではありましたが、みんなの良い笑顔がたくさん見られました。是非、来年も開催していきたいと職員一同思っております。(児童課 前田)



### 相模原市里親養育包括支援センター(通称「ふうせんかずら」) 活動報告

#### 里親体験談を開催しました。

8月5日(土)に2023年度市民向け里親制度啓発の活動の1つ里親体験談を開催しました。合計9名の参加がありました。

体験談には2家庭の里親さんに語っていただきました。長期養育で男児と生活している里親家庭から里父さん。「子どもから、「お父さん嫌い。」などという発言をされても、一緒に暮らすことを選んだ大人として、君が大好きだよというメッセージを伝え続けたい。また子どもが大泣きしたり、騒いだりして大人が困る行動をした時は、子どもの気持ちも疲れている時であったり、落ち着かない時だと受け入れて、少し無理矢理でも抱きしめて気持ちを受け入れて行きたい」というお話しがありました。少しづつ積み上がっている関係から、困る行動や言葉も受け止め、うちの子として育てるという覚悟を強く感じました。

もう1組は緊急一時保護の活動にご尽力いただいている里父母さんで、自宅から急に一時保護になる子どもに、今必要なら今我が家にとする気持ちから、切れ間なくお預かりいただいてきました。どの子どもにもその時々愛情をかけ

て育てている様子がわかり、大変な中にも笑顔が多く、子どもの発言にドキドキしながらも楽しく過ごす里母さん。そんな里母さんを冷静に支えつつも、色々な状況にある子どもの言葉にハッと気が付く話や、もっとこうすれば良かったと反省する里父さんの話もありました。

体験談を聞いた際に、その家庭の数だけ物語があると感じます。委託のかたちに関わらず、参加した方からは、「里親さんの子どもに対する心構えなど経験者でないとは分からない内容があり勉強になった。」という感想があり、今後も継続したい活動だと実感しました。

#### ホームページも開設しています。

相模原市里親制度についてまた、今後行われる制度説明会など順次UPしていきます。是非ご覧ください。  
<https://fusenkazura.chusinkai.net>  
(ふうせんかずら 内山)



### ご寄付お礼

【2023年4月～6月】

熱いご支援、ありがとうございます。

株式会社セクメット 瀬戸誠 様/ニラク 海老名本郷店 様/コストコホールセール座間倉庫店 様/株式会社ザ・シティ相模大野店 様/サンラッキー相模原店 様/フードコミュニティ 代表 中臺 ひろし 様/相模原南地区更生保護女性会 様/坂本美和子 様/坂間農園 様/高田一美 様/Aden&Anais 株式会社 様/他匿名1名

### 親子サロンについて

親子サロンにつきましては、現在準備中です。開始する準備が整いましたら、ホームページにてご案内いたします。

### 猛暑と夏休み 相模原南児童ホーム 所長 曾我 幸央



今年の夏は記録的な猛暑日が続き、毎日のように熱中症警戒アラートが発令されました。

ホーム周辺にはたくさんの自然があり、毎年、カブトムシが採れるのですが、カブトムシの姿を今年は身近に見ることができませんでした。猛暑の影響と因果関係があるのかわかりませんが、人間だけでなく、自然界の生き物にとっても厳しい暑さだったのかもしれない。

子どもたちの夏休みの過ごし方も、熱中症防止のために、如何に屋内で有意義に過ごせるか工夫しながらの毎日でした。ひと昔前までは、虫取り、プールなど、外で元気に遊び、9月の新学期には、真っ黒に日焼けした子どもたちの姿が見られたのですが、今は危険な暑さのため、外で遊ばせることができなくなってしまいました。

それでも、地域の皆様のご厚意で、屋内での夏祭り、スイカ割り、流しそうめん、花火など、コロナ禍ではできなかったイベントを皆で楽しむことができました。ご協力いただいた地域の皆様、誠にありがとうございました。

### 職員のお誕生日



乳児課の住澤職員が8月16日(水)にお誕生日を迎え、ユニット職員よりお祝いのエプロン、三角巾をプレゼント。

いつも素敵な美声で子どもたちに歌を歌ってくれ、子どもたちと走り回っている姿に

私たち職員も住澤職員から元気をもらっています。(曾我)

### 夏休みの過ごし方

猛暑続きの日々。夏休みは登校登園の慌たしさからは解放されますが、早寝早起きの蕾こたちは朝の6時から一人二人と起きてきて今日も元気全開です。夏休みはボランティアの方々や、実習生、アルバイトの方々が入って下さり、子ども達は全力で遊んでくれる方が大好きなので楽しみにしているようです。本当にありがとうございます。

夏休み期間はユニットごとにイベントを考えていますが、蕾ユニットは幼児が多いため、急な熱や風邪をひいてしまうことがよくあります。先日はファミレスでの夕食を計画していましたが、体調を崩した児童があり、急遽テイクアウトディナーに変更。元気な子どもたち3名と一緒に座間イオンの食料品売場にレッツゴー。サンドイッチや焼きそば、デザートなど、食べたいものをかごに入れる体験をしました。その中で一番盛り上がったのは「ポケモンパン」でした。シールのおまけにそれぞれが大喜び。楽しい夜ご飯になりました。行事もまだまだ計画。子どもたちに夏の思い出が一つでも多く残りますように、暑さに負けず楽しんでいきたいです。(児童課 鳥井)

# 子どもたちの生活の様子 職員だより



今年の夏休みは毎日のように熱中症警戒アラートが出て思うように外遊びなどが出来ない日も多かったですが、中でも各々のユニットでプール遊びや水遊びなど少しでも涼しく過ごせるように工夫をしながら遊んでいました。

また、ユニット外出や映画外出、外食、公園外出、地域のお祭りなどコロナ予防には気をつけながらも少しずつ以前のようにお出かけも出来るようになり子ども達も楽しむことが出来ました。

特に子ども部会が中心となって実施したホーム内での夏祭りはとても盛り上がりました。かき氷の機械や流しそうめん、めんめん、ガチャガチャをお借りしたり、おもちゃなどの寄贈もあり子ども達もとても喜んでいました。ありがとうございました。(児童課 油座)

8月17日(木)に子ども部会主催の夏祭り、流しそうめん、花火を開催しました。夏祭りではタピオカミルクティー、りんご飴、ストラックアウト、射的、地域のみかんの木さんよりかき氷機をお借りし、かき氷を行い、日光建設さんに頂いたスーパーボールすくい、ガチャガチャの計7つのブースがあり、どれも大盛り上がりでした。その中で子ども部会の児童達もそれぞれのブースで店番をしてくれて大活躍でした。

流しそうめんでは当法人の高齢者施設、中心荘からとても立派な竹をお借りして本格的な「流しそうめん」を行いました。勢いよく流れてくる麺を箸で掴むのに苦戦している子どももいましたが、上手に掴めた時の嬉しそうなお顔を見てこちらも温かい気持ちになりました。食べすぎてお腹が破裂しそうになっている子もいましたが本格的にやることで、大満足な姿が見られました。

暗くなってから「花火」をやりました。合計1000本超えの手持ち花火を談笑しながら楽しみました。夏と言えば「お祭り、流しそうめん、花火」と夏を満喫できる行事を南児童ホームの中で出来た事で子ども達も夏休みの良い思い出になったと思います。また来年も職員、子どもと一緒に楽しめるように企画していきたいと思ひます。(児童課 関)

コロナウイルスが減ってきた影響も大きく、今年は久しぶりに外で開催されているお祭りに行くことができました。

私自身女子ユニットに異動してから初めてのお祭りで、度重なる夏のイベントで子どもたちのお小遣いは尽きていたため歩いて回るのがメインとなりましたが、お祭りの雰囲気を存分に楽しむことができました。

いつもの遊びに行く恰好とは異なり浴衣を着ておしゃべりを楽しむのも女の子らしい楽しみ方だと思います。また公園などに遊びに行く時よりも人が多いたからこその子どもたちも周りのことを気にしなければならず、公共のマナーを身に付けることができます。歩き疲れて途中で帰りたいがる子どももいましたが、最後にみんなで花火を見たときはみんなで空を見上げ、連れて来られて良かったと思われされました。

ここ数年は感染症の影響もあり、なかなかさせてあげられなかった夏らしい経験を久しぶりにさせてあげられた気がします。(児童課 吉田)



金魚すくいをしたり



スイカ割りをしたり



虫取りに行ったり



流しそうめんやゲームをしたり



みんなで花火をしたり



ボディペインティングをしたり



浴衣を着て花火を観たり



かき氷を食べたり



水遊びをしたり



ゼリーを作って食べたり



「虫取りに行こう!」出勤すると、そんな声が聞こえます。夏休みが始まり、暑さも増してきていますが、子ども達は暑さに負ける事も無く、元気いっぱい過ごしています。男の子のお部屋では小学生の間で虫取りが流行っており、近隣へ虫取りに行っています。南児童ホームの周辺は自然豊かで、虫取りの好きな子からすると、まるで宝箱のよう。蝉やトンボ、蝶などを器用に捕まえては、それを見せてくれます。

対して受験を考えたり、アルバイトにたくさん入りたい高校生にとっては、勝負の夏。塾に行って勉強をしたり、アルバイトの予定を増やしたり、時には友達と一緒に街に出て買い物や遊びを楽しんだり、忙しくも充実した夏休みを過ごしております。

昨年度まではコロナ禍により、窮屈な思いをさせていましたが、少しずつ以前の夏休みを取り戻しつつある子ども達。そんな彼らのエネルギー溢る姿を見ると、こちらも負けていられない。と言う気持ちになります。(児童課 杉山)

今年の夏は非常に暑い日が続いていますね。熱中症アラートもほぼ毎日のように発令されていますが、乳児課では、夏にしか出来ないイベントをいろいろと企画し、みんなで参加して楽しんでいます。

七夕には透明なゼリーに型を押し付けて、星型のゼリーを作りました。自分で作ったゼリーを見ては、とっても嬉しそうに口に入れていました。また、みんなで夏野菜を育てることに挑戦!乾いている土にみんなで「おおきなあれ!」「おいしくなあれ!」とたくさん声を掛けながら、積極的に水をあげてくれて、立派なミニトマトやピーマンができました。

大きなスイカに向かって「えいっ!」と長い棒で叩いてみたり、ボディペインティングでは、身体に絵の具を塗って感触を楽しみました。少しでも涼しさを味わうために、かき氷作りを企画。氷を削るハンドルは少し硬くて回しづらそうにしていましたが、削れた氷を触ると溶けてしまうことを不思議そうにしたり、食べてみて今まで味わったことのない冷たさに驚いた様子も見れたりして、とても有意義な夏休みを過ごしました。(乳児課 水落)

連日猛暑の為、散歩に出掛けられない日々が続いています。そのため乳児課では、梅ジュース作りやゼリー作りなど、室内での楽しみを増やしています。特にゼリー作りでは、匂いや手触りなどを楽しみながら五感をたくさん使い、各々の個性あふれるとても素敵なゼリーを作ることが出来ました。完成したゼリーは自分たちで食べる前に様々な部署の職員に届けに行き、「ありがとう」と沢山声を掛けてもらい照れつつも嬉しそうにしている子どもたちの姿がとても印象的でした。

他にも夏の風物詩であるかき氷作りやスイカ割りをしたり、暑い季節ならではの遊びであるボディペインティングや水遊びをしたりなど、身体全体を使って遊んでいます。暑い中でもできる楽しいこと、暑いからこそよりおいしく感じるものをたくさん発見し、子どもたちと充実した日々を送っています。

まだまだ暑い日は続きそうですが、みんなで夏を満喫し、暑い毎日を乗り越えたいと思ひます。(乳児課 杉本)